

平成28年度予算を審議！

賛成多数で可決

統合庁舎建設を終え、平成28年度一般会計予算は、左図のように199億円台となり、特別会計をあわせると約366億円となりました。予算審議の中でどのような意見が交わされたか、一部ですが紹介します。

〔一般会計予算〕

〔予算全般〕

Q 昨年に比べ、約25億円の減額予算だ。減額幅が大きすぎるのでは。

A 当初予算対比では、13億6千400万円の減額だ。歳入内訳は、1億3千900万円の市税増。減額として地方交付税、統合庁舎整備事業が終わり、公共工事整備基金からの繰入が減少。事業精査をして予算抑制をした。

Q 社会保障分の地方消費税交付金は、4億3千万円増額された。しかし、市の福祉関連事業費は平成25年比で1億円しか増額されていない。残りの3億3千万円はどうしたのか。

A 説明資料を、予算書に添付しているので、国が示す条件をクリアしている。今後は説明方法を研究していく。

〔総務関係〕

Q ふるさと応援寄付金の方針は。

A 返礼品の種類を増やし、発送の二元化をする。

Q 補助金の見直しが多いが、見直しのポイントは。

A 公益性、必要性、費用対効果等で検証し、近隣市の調査も行った結果、約7割が本市の補助金が優遇されていた。検討を行い、反映した。

Q ホームページへの情報掲載期間が短すぎるのでは。

A 現在、30日で削除しているが、今後はしばらく残す。

Q 津波避難計画の対象地区は。

A 市内全域だ。地震で堤防の破堤、沈下が起き、津波が遡上したら浸水が発生する。

Q 支所整備費総額は、計画通りか。

A 平成26年7月には、6億3千400万円と試算していた。

現在では、7億3千900万円と試算している。

〔教育・福祉・健康〕

Q ガン検診受付の改善点は。

A 27年度は、インターネットでの申し込みを先に開始し、電話のつながりにくさが緩和された一方、窓口受付の待ち時間が長くなった。

28年度は、窓口対応職員の配置数の見直し、インターネット申し込みの枠の拡大を検討する。

Q 児童クラブの現状は。

A 直営・指定管理で、児童数が多いところがある。民間児童クラブに、指導員を確保し受け入れをお願いして

いる。

Q 適応教室「すまいる」の利用状況は。

A 小学校では、26年度の不登校児童18名、27年度17名あったが利用はなかった。中学校は、26年度の不登校生徒59名のうち14名、27年度は59名のうち7名が利用した。今後も相談活動を進めていく。

Q 資源ごみ回収推進補助金の6円から4円への減額理由は。

A 他市と比較し、判断した。

Q 学校教育関係の補助金削減の額と影響は。

A 小中学校あわせて14事業で、総額362万9千円の削減だ。